

(様式第1号)

平成30年7月27日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領域名：生活支援・介護過程に関する領域

科目名：自職場事例を用いた演習

単位数：1単位

認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：一般社団法人三重県介護福祉士会

団体事務所の所在地：〒514-0003


三重県津市桜橋2-131 三重県社会福祉会館2階

電話：059-264-7741

FAX：059-264-7742

E-mail：mie\_kaifuku@ybb.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：(一社) 三重県介護福祉士会 

申請責任者：大田 京子

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

※申請受付番号 \_\_\_\_\_

(※は記入しないでください)

### 認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成30年7月27日
申請団体名	一般社団法人 三重県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 大田 京子
申請責任者職名 申請責任者氏名	認定介護福祉士養成研修担当 森 聖志
団体住所  同 Tel・Fax メールアドレス	〒514-0003 三重県津市桜橋 2-131 Tel : (059)-(264)-(7741) Fax : (059)-(264)-(7742) E-mail:mie_kaifuku@ybb.ne.jp
申請対象の領域	領域名：生活支援・介護過程に関する領域
科目名 (単位数)	科目名：自職場事例を用いた演習 (1単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ( ) 年 認証番号 ( ) 年 認証番号 ( )
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	生活支援・介護過程に関する領域	
科目名	自職場事例を用いた演習	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例から個別支援計画を作成し、実施方法をチームにおいて検討する事ができる力を育成する</li> <li>・計画を実施し、チームにおいて適切な記録から計画を評価し、課題を抽出し、計画を修正することができる力を育成する</li> </ul>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例について、各種の知識を活用し、利用者の全人的理解や他専門職からの情報を統合し、適切なアセスメントにより、個別支援計画を作成することができる</li> <li>・計画の実施方法を検討し、適切にチームにおいて実施することができる</li> <li>・実施状況を記録し、実施内容を評価・指導することができる</li> <li>・実施内容の評価から、チームにおいて計画を修正することができる</li> <li>・介護福祉士としての介護観・支援の考え方・倫理観を確立し、他職種と連携することができる</li> <li>・個別支援計画と実施内容の妥当性について評価し、指導することができる</li> </ul>	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学んだ知識・技術を統合し、利用者の全人的理解、他の専門職の情報(治療状況、看護の経過、リハビリの経過)、家族状況などを踏まえた個別支援計画の作成(医療・看護・リハビリ等の知識の確認を含む)</li> <li>○自職場で個別支援計画をプレゼンテーションし、介護職員の共通理解を図る</li> <li>○自職場で個別支援計画を実施し、実施経過を記録する</li> <li>○実施経過から事例検討のための資料を作成し、事例検討会を開催する</li> </ul>	<p>1. 個別支援計画の作成と展開の手法 (講義4時間、演習6時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ICFによる情報整理と全人的理解</li> <li>② 観察と記述による介護職への指導</li> <li>③ 記録内容を活用したプレゼンテーションとチームカンファレンス</li> <li>④ 自職場での実践に向けたまとめ</li> </ul> <p>4. 自職場による実践(事後課題:20時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事例検討用資料の作成</li> <li>② 資料活用による介護職員への指導</li> <li>③ 資料活用による事例検討会の開催</li> <li>④ 上記を根拠にした個別支援計画の作成と展開</li> </ul>

含むべき キーワード	全人的理解、個別支援計画の作成と展開、評価、介護職への指導、 プレゼンテーション、事例検討用の資料の作成、事例検討会の開催
研修方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■集合研修</li> <li>■課題学習</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。</li> <li>○評価は担当講師が行う。</li> </ul>
研修時間	30 時間
修了要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○原則として全課程の出席を要する。やむ得ない事情による遅刻、早退については30分を上限として認める。30分を超える遅刻、早退の場合、別途課されるレポート課題により代替することを可能とする。</li> <li>○事後課題はA～Dの4段階評価とし、D評価の場合は再提出を求める。事後課題の提出が期限内に行われなかった場合、修了を認めない。</li> <li>○欠席の場合は修了を認めない。</li> </ul>
講師要件（講師の 選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある事</li> <li>・修士課程を修了している介護福祉士であることが望ましい</li> </ul>
(2)受講者について	
受講対象 (受講要件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別支援計画と作成と記録の演習」を修了していること</li> </ul>
修了評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計30分（遅刻、早退それぞれ15分）を上限として認める。（レポート課題なし）1日のプログラムのうち、始めの30分を超える遅刻、終わりの30分を超える早退であって120分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。</li> <li>修了評価は以下により行う。</li> <li>①出席状況が修了要件を満たしていること。</li> <li>②演習において、発言内容、他者の意見に対する対応、演習内容の理解力等を講師が評価し、一定以上の基準を満たしていること。</li> <li>③事後課題1600字程度（A4レポート2枚）にまとめる。</li> <li>この課題の評価がA～Cであること。D評価の場合は再提出を求め、C以上の評価を得なければならない。</li> </ul>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置 基準）	30名
開催場所（都道府 県）	三重県社会福祉会館（三重県津市桜橋 2-131）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 31 年 3 月 26 日 (火)
	②
	③
開催場所 (会場)	①三重県社会福祉会館 2階 大会議室 (三重県津市)
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当する講義等 「自職場事例を用いた演習」</li><li>・保有資格 介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア学会認定認知症ケア専門士、社会福祉主事任用資格 介護教員講習会修了資格、介護技術講習会主任指導者資格、福祉経営学士、修士 (社会福祉学)、博士 (社会福祉学)</li></ul>
	1998年4月医療法人米津会介護老人保健施設職員、介護福祉士として介護業務担当 2000年12月同法人グループホームつるしろ職員、介護福祉士として介護業務担当 2001年6月同法人グループホームつるしろ施設長、同法人グループホームよねづ統括主任 任、管理者、介護支援専門員として運営管理業務担当 2005年4月学校法人日本福祉大学高浜専門学校介護福祉学科専任教員、同法人日本福祉大 中央福祉専門学校介護福祉士科兼任講師 2009年4月静岡県公立大学法人静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 助教 2009年4月学校法人日本福祉大学日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科非常勤講師 (現在に至る) 2011年4月静岡県公立大学法人静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 講師 2017年4月静岡県公立大学法人静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 准教授 (現在に至る)
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修実行委員会 (常勤: 1名、非常勤: 4名) 実行委員会事務局 (担当事務局員、介護福祉士会事務兼務、常勤2名) 研修実行委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを

研修の企画運営に関する諸 規程	<p>図る。 三重県介護福祉士会の定款、生涯研修委員会の諸規程に準 ずる。</p>
研修管理責任者職名	
研修管理責任者氏名	会長 大田 京子
機構問合先部署	一般社団法人三重県介護福祉士会 事務局
機構問合先担当者氏名	森 聖志
機構問合先電話番号/FAX	059-264-7741 / 059-264-7742
機構問合先 e-mail アドレス	<a href="mailto:mie_kaifuku@ybb.ne.jp">mie_kaifuku@ybb.ne.jp</a>
受講問合先部署	一般社団法人三重県介護福祉士会 事務局
受講問合先担当者氏名	森 聖志
受講問合先電話番号/FAX	059-264-7741 / 059-264-7742
受講問合先 e-mail アドレス	<a href="mailto:mie_kaifuku@ybb.ne.jp">mie_kaifuku@ybb.ne.jp</a>
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	三重県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<p>○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は、紙媒体で 保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。</p>
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、 全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発 行する。
管理責任者氏名	大田京子（会長）
管理担当者氏名	稲木千泰（三重県介護福祉士会 事務局兼務）

別紙 1

認定介護福祉士養成研修時間割表

領域：生活支援・介護過程に関する領域

科目名：自職場事例を用いた演習

(1日目)平成31年3月26日

区分	科目名	時間	内容
	受付	8:30~9:00	
1・2	<p>○学んだ知識・技術を統合し、利用者の全人的理解、他の専門職の情報（治療状況、看護の経過、リハビリの経過）、家族状況などを踏まえた個別支援計画の作成（医療・看護・リハビリ等の知識の確認を含む）</p> <p>○自職場で個別支援計画をプレゼンテーションし、介護職員の共通理解を図る</p>	9:00~12:00	<p>1. 個別支援計画の作成と展開の手法（講義、演習）</p> <p>① ICFによる情報整理と全人的理解</p> <p>② 観察と記述による介護職への指導</p> <p>③ 記録内容を活用したプレゼンテーションとチームカンファレンス</p> <p>④ 自職場での実践に向けたまとめ</p>
	休憩	12:00~13:00	
3	<p>○自職場で個別支援計画をプレゼンテーションし、介護職員の共通理解を図る</p> <p>○自職場で個別支援計画を実施し、実施経過を記録する</p> <p>○実施経過から事例検討のための資料を作成し、事例検討会を開催する</p>	13:00~17:30	<p>2. 自職場による実践（事後課題：20時間）</p> <p>① 事例検討用資料の作成</p> <p>② 資料活用による介護職員への指導</p> <p>③ 資料活用による事例検討会の開催</p> <p>④ 上記を根拠にした個別支援計画の作成と展開</p>